

我ら 50 期 ここにあり

学校に響き続けるハーモニー



合唱コンクールは、クラスが団結して 1 つになれる行事であり、協力することの大切さ、思いやりの心、忍耐力、協働して創造する力などたくさんのことが学べる。中学生は青春のエネルギーを燃やして、どこまでも伸びていけそうな無限の可能性を見せてくれる。このパワーをクラスや学年の中に根付かせることができたなら、どんなに素敵なことであろう。「音楽を得意とする者」と「苦手とする者」の両者の思いをくみ取って、勉強、人間関係、進路と悩みを抱えながら、3 年間で色々な仲間や先生にもまれながら、他者とのつながり、コミュニケーション力を培い、力を合わせて取り組んでくれたみんなに惜しみない賞賛を送りたい。最初は、曲を何んとか決めて、何んとか始まる。そしてやる気のない人とある人とのぶつかり合い。先生の熱が入り過ぎてかえって冷めてしまう。音楽と真剣に向き合った。他のクラスが努力しているのを見てヤバイって感じた。和解したり、思いやりが生まれたり、周りへの配慮といった、人として大切な感情が育った。「合唱は楽しい」と実感してくれた。合唱を通してクラスの良い雰囲気作りができた。ピアノ伴奏や指揮者を引き受けて陰で練習をしてくれたみんな、難しい審査員に選ばれて責任を果たしてくれたみんな、担任・副担・学年・学校の先生、保護者の皆様、一生懸命歌ってくれたみんな、本当にありがとうございました。

最後に、全力で歌うことを当たり前にしてくれた、声を合わせて歌うことは楽しいこと、歌は大きな声で歌うことが楽しいということ、みんなで腹の底から歌うのが気持ちいいこと、合唱の楽しさを 50 期生の全員に教えてくださり、1 人 1 人が伸び伸びと周りを気にせずに歌える環境を整えてくださった、幼稚園の先生、小学校の先生、畑中依子先生ありがとうございました。

《最優秀賞》 2 組 「プレゼント」

《優秀賞》 1 組 「あなたへ」 《優良賞》 5 組 「手紙」

逃げるな！挑め!!!



自分の「困った」を解決できるのは自分です。そんな自分になるには、簡単にできることの継続によって、自分に対する自信を自分の中に貯めていくことです。自分を自分で教育していくということです。それは、自分のことを、さらに自分の将来を大切にしていることになりますから、これはボディープローのように効いてくるのです。「逃げる」か「挑む」かというのは、『自分自身から逃げるか挑むか』ということです。思うようにいかなかったとき、困難や壁が現れたときにその人の本性が露骨に出てしまいます。人の価値は、「いざと言う時」に試されるものなのです。日頃どんなにきれいごとを言っていたり、カッコつけていたりしても、「いざと言う時」にその人の真価が問われるのです。50 期生諸君、逃げるな！挑め!!!

つながることば



同じことをする時に、「よっしゃ頑張ろう!」「さあやるぞ!」「やればできる!」というプラス思考の言葉と、「あ〜しんど」「だるい」「もういいやん」というマイナス思考の言葉を聞くとどうですか?言葉は心に突き刺さり、心を変えます。たった 1 人でもマイナス発言をする人がいると、その言葉は周りにいる人の心に突き刺さり、心のエネルギーをうばいとります。逆に、やる気がないときに、周りで勇気づけてくれるようなプラス発言の言葉を聞くとエネルギーが湧いてきます。マイナス発言は禁止!!お互いに元気を与え合えるクラスに、学年にさらにしていこう!!勝負はこれから。明るく、前向きな気持ちで、つながる言葉を口にして、毎日を過ごしましょう。

決戦の 12 月！勝負の年末年始！



今年のサンタさんへの願いやお正月のお年玉は置いて、自分史上最高で学習に力を注ぎましょう!宿題や課題は早く済ませて、過去問や入試問題を中心に問題にたくさん当たりましょう。規則正しい生活を心がけて身も心も整えて、今までにないくらいの集中と本気で、受験勉強に取り掛かってみよう!12 月の過ごし方で結果が変わると言っても過言ではありません。